

# プール施設のあり方検討

令和元年11月2日  
津山自分ごと化会議

# 1 プール施設の現状

## 市内のプール分布図（民間施設を含む）

施設区分	施設数
■ 市営プール	4
● 学校プール （小学校）	27
● 学校プール （中学校）	8
■ 民間プール	4



加茂町スポーツセンタープール



勝北総合スポーツ公園プール



ガラスハウス



久米総合文化運動公園市民プール



## 隣接市町の公共プール



## 2 市営4プールの現状

### 施設概要

施設名称	建設年	施設写真	建物構造・管理運営	開場期間・休場日	プール種類
グラスハウス	平成10年		鉄骨造 【指定管理者】	開場期間:(通年)温水プール (6月土日・7~9月)屋外流水プール 休場日:火曜日、12/30~1/3	遊泳プール、幼児プール、屋外流水プール(夏季)、フィットネスプール(15m×3コース)、リラクゼーションプール、ジャグジー、サウナ(3種)、ウォータースライダー、ワイルドリバー、冷水プール、アスレチックジム、多目的ルーム
久米総合文化運動公園市民プール	平成7年		鉄筋コンクリート造 【指定管理者】	開場期間:(通年)温水プール (7月初旬~8/31)屋外流水プール・ ウォータースライダー 休場日:月曜日・年末年始	室内温水プール(25m×6コース)、幼児プール、トレーニングルーム、ダンスフロア、サウナ、ジャグジー、屋外流水プール・ウォータースライダー(夏季)
勝北総合スポーツ公園プール	平成3年		鉄筋コンクリート造 【直営】	開場期間:7月第2土曜日~8/31 休場日:なし	流水プール1周100m、幼児プール、ウォータースライダー、ロックスライダー
加茂町スポーツセンタープール	昭和58年		鉄骨造 【直営】	開場期間:6/1~9/30 休場日:月曜日	屋根付プール(25m×6コース)、幼児プール

## 2 市営4プールの現状

### ガラスハウス

#### 1. 設置の経緯【建設年：平成10年】

岡山県北の地域振興の拠点として、県と市で共同整備したグリーンヒルズ津山の中で、ガラスハウスは県が整備し、市が施設の管理運営を行う。

平成20年8月に県施設として廃止の方針発表

平成21年6月にガラスハウスの存続を求める請願。同年7月に市議会で採択

平成22年6月、県が施設改修工事のうえ、市へ譲与する協定の締結

改修工事のため、平成22年7月から平成23年3月まで施設休業

平成23年4月、県から市へ譲与されたことに伴い、営業を再開

平成26年11月開催の事業仕分け判定を受け、「民間等で実施」の方針打出し  
憩いと交流、健康づくりの場を市民に提供することを目的とする。



#### 2. 施設の現状

築年数が21年となり、施設の老朽化が見られる。



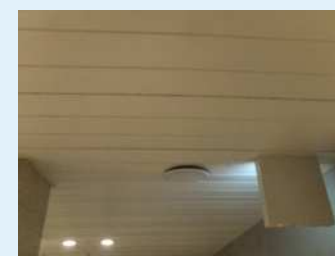
各機器の故障



躯体の劣化



屋外造形物の劣化



雨漏りによる天井劣化

## 2 市営4プールの現状

### 久米総合文化運動公園市民プール

#### 1. 設置の経緯 【建設年：平成7年】

久米町の中心エリアを文化・スポーツゾーン化する計画の中で、多くの町民の要望・期待を集めたプール施設。

建設当時の週休2日制・学校5日制等、余暇時間の増大による健康志向の高まりから、周年利用できる温水プール施設・トレーニング室とあわせ、集客力を高める屋外プールを一体としたレジャー性のある総合スポーツ公園施設として整備されたもの。



通年開館の様子



施設の全景

#### 2. 施設の現状

築年数が24年となり、施設の老朽化が見られる。



ポンプの不良



結露による天井劣化



地盤沈下



スライダー階段の傾き

## 2 市営4プールの現状

### 勝北総合スポーツ公園プール

#### 1. 設置の経緯 【建設年：平成3年】

水泳に適した海浜・河川等が減少し、また近隣の公営プールは競泳用プールが主であり、レジャープールが少なかったことから、多様な利用者層に対応でき、自然環境の中で健康運動できるコミュニティプールであり、体力・健康づくりの要素を含むスポーツ施設であると同時に、水に親しむ遊び場を創出することを目的に整備されたもの。



開場期間の様子



施設の全景

#### 2. 施設の現状

築年数が28年となり、施設の老朽化が見られる。



プール内塗膜の剥離



ろ過装置の劣化



地盤沈下



建物コンクリート劣化

## 2 市営4プールの現状

### 加茂町スポーツセンタープール

#### 1. 設置の経緯 【建設年：昭和58年】

近郊の工業団地（草加部工業団地、綾部工業団地）への企業誘致や地元雇用によるUターン等の若者の定住促進に取り組む中、地域の活力を増進させ、定住環境の拠点として整備されたプール施設。

施設整備により、泳げない子どもをなくす指導や青年のスポーツ振興と体育館の効率利用でスポーツの裾野を広げ、誰でも参加できる健康づくりの普及を目的としたもの。



開場期間の様子



施設の全景

#### 2. 施設の現状

築年数が36年となり、施設の老朽化が見られる。



ポンプ類の劣化



鉄骨の腐食



内部塗膜の剥離

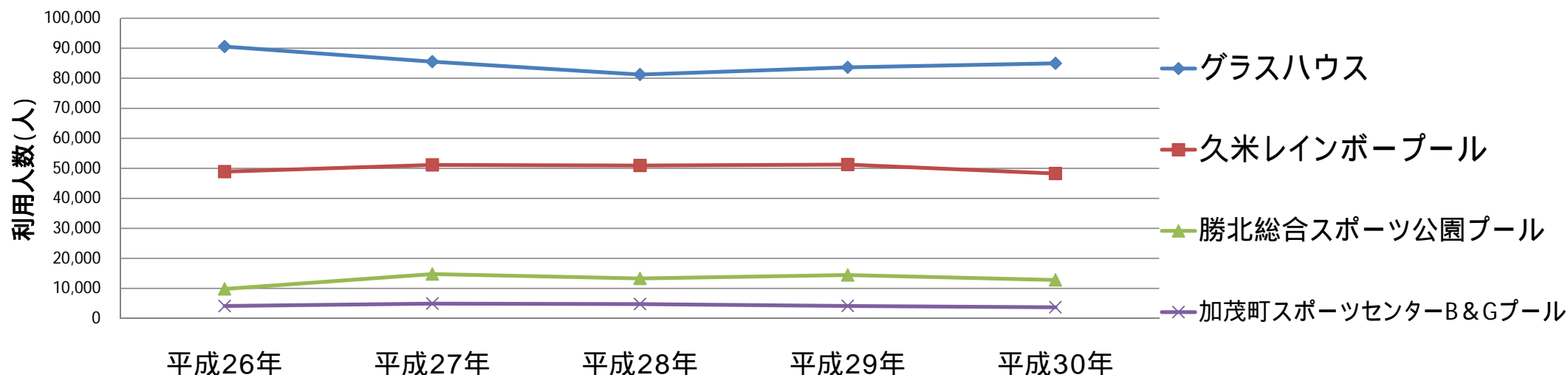


エキスパンション部の劣化

## 2 市営4プールの現状

市営プールの利用状況（直近5年間の利用人数）（単位：人）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
グラスハウス	90,563	85,528	81,232	83,649	84,979
久米総合文化運動公園市民プール	48,900	51,147	50,937	51,261	48,253
勝北総合スポーツ公園プール	9,835	14,791	13,339	14,450	12,805
加茂町スポーツセンタープール	4,141	4,932	4,775	4,142	3,712



○ 直近5年間の利用人数は、ほぼ横ばいで推移している。

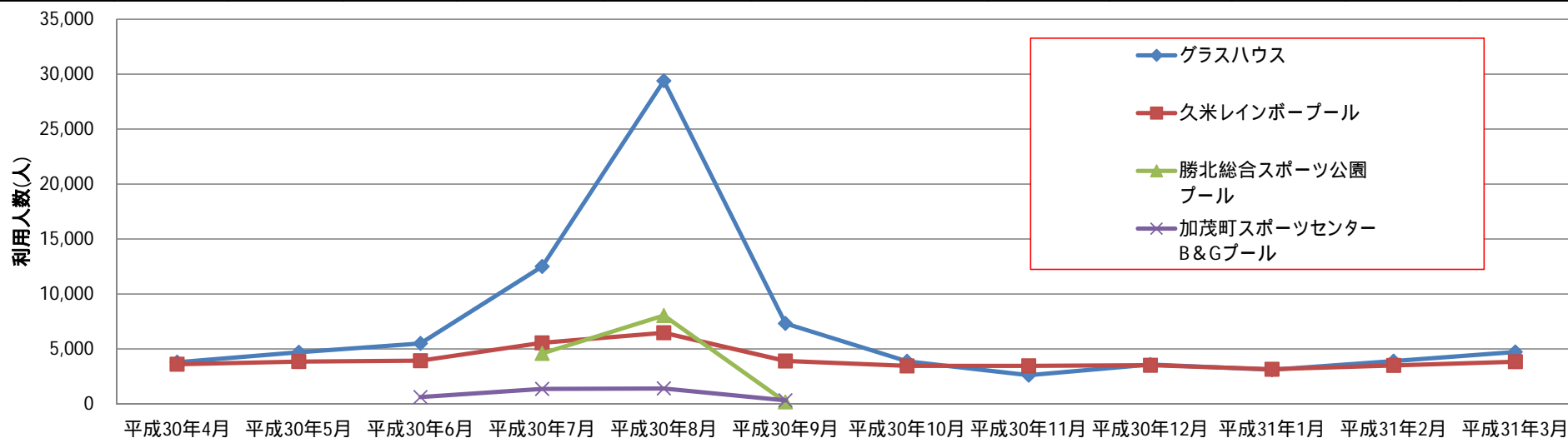


## 2 市営4プールの現状

市営プールの利用状況（平成30年度の利用人数）

（単位：人）

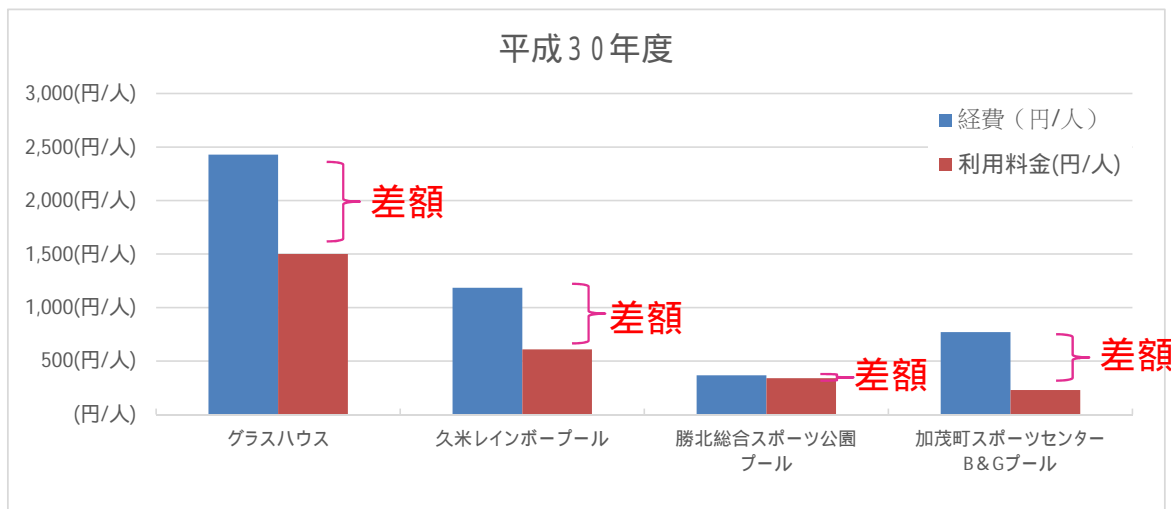
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グラスハウス	3,789	4,701	5,502	12,498	29,392	7,313	3,878	2,607	3,579	3,106	3,893	4,721
久米総合文化運動公園市民プール	3,611	3,851	3,928	5,556	6,472	3,905	3,460	3,463	3,516	3,154	3,499	3,838
勝北総合スポーツ公園プール				4,590	8,038	177						
加茂町スポーツセンタープール			625	1,363	1,403	321						



○ グラスハウスについては7月、8月の利用人数が全体の50%を占めている。

## 2 市営4プールの現状

### 市営プールの運営経費（利用者1人当たり）



	経費	利用料金(円/人)
グラスハウス	2,429(円/人)	1,500(円/人)
久米総合文化運動公園市民プール	1,186(円/人)	610(円/人)
勝北総合スポーツ公園プール	367(円/人)	340(円/人)
加茂町スポーツセンタープール	770(円/人)	230(円/人)

利用料金は大人料金で比較したもの

利用者1人当たりの運営経費はすべての施設で利用料金を超えている。  
利用料金を超える部分が、施設（市）の負担となっている。

### 市営プールの運営市費

（平成30年度）

	金額	内容
グラスハウス	1億920万円	指定管理料
久米総合文化運動公園市民プール	2,314万円	指定管理料
勝北総合スポーツ公園プール	35万円	実質市費負担額
加茂町スポーツセンタープール	264万円	実質市費負担額

# 3 学校プールの現状

## 1. 学校プール設置の経過

昭和30年の宇高連絡船の紫雲丸（しうんまる）の事故や三重県の橋北中学校の水難事故で、多くの児童・生徒が溺死する事件があった。

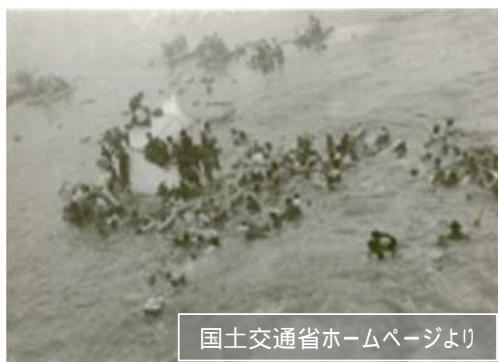
このような事件、事故を背景に、水泳を取得することが命を守ることに繋がるとして、当時の文部省の指導により、小・中学校へのプールの設置が進められ、学校体育に水泳の授業が採用された経過がある。

## 2. 学校プールの現状

こうした経過を踏まえ、本市においても全小中学校（27小学校＋8中学校）にプールを設置し、各学校において水泳授業を行ってきた。

現在、久米中学校のみレインボープールを活用し水泳授業を実施  
一方で、施設の老朽化等により、修繕が必要な学校も多くあり、今後多大な改修費用が発生すると想定される。

当時の紫雲丸事故の様子



国土交通省ホームページより

改修事例



## 3. 水泳授業について

小・中学校の水泳授業では、子どもたちが水を克服し、自らが水の事故から命を守るための能力を養うとともに、運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を図ることを目的に指導を行っている。

【1・2年生】 水の中を移動するなどの水遊び

【3・4年生】 もぐる、浮くなど初歩的な泳ぎ

【5・6年生】 クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動

【中学生】 バランスを重視した泳ぎ（クロール、平泳ぎなど）

水泳授業は6月から7月にかけて実施。小学校では夏休み期間中、地域等へのプール開放で学校プールを活用している。

時間数については、各小・中学校において、年間10～15時間程度指導するよう年間計画を立てている。

一方で、水泳授業が終了した7月末には、児童の水泳に対する意欲を高めることを目的に、小学校水泳記録会を開催している。

授業外となるが、記録会に向けた指導が、本市の水泳授業の教育的効果を高めることに繋がっていると考えている。

イメージ



# 3 学校プールの現状

## 学校プール維持管理の経費【概算】

小学校 27校  
中学校 7校（久米中学校はレインボープールを活用しているため除く）

### 改修時期の目安

- ・ プール本体の防水 : 約10年毎
- ・ ろ過器濾材の入替 : 約10年毎
- ・ ポンプ・配管等更新 : 約15年毎
- ・ ろ過器更新 : 約30年毎



### 小学校プールの改修（平均経費試算）

- ・ 高学年プール防水 : 約808万円
- ・ 低学年プール防水 : 約178万円
- ・ プールサイド・配管 : 約1,449万円
- ・ ろ過器 : 約500万円

-----  
合計 : 約2,936万円/校

### 中学校プールの改修（平均経費試算）

- ・ プール防水 : 約1,036万円
- ・ プールサイド・配管 : 約1,485万円
- ・ ろ過器 : 約500万円

-----  
合計 : 約3,022万円/校

### 光熱水費（固定費試算）

約1,400万円/年



## 維持管理の経費

令和30年までの維持経費の試算 : 年平均約9,700万円の支出

## 4 プール施設のあり方検討の流れ

プール施設の現状を踏まえ、今後の具体策について検討

市営プールの市場性・活用アイデアの調査  
(サウンディング型市場調査)

市営4プールの改修検討  
(経費試算)

市営プールの再編案検討  
(個別施設の評価、あり方検討のまとめ)

# 5 市営プールのサウンディング型市場調査

## サウンディング型市場調査

公共施設等の活用方法や整備手法、公募条件等を決定する前段階で、公募による民間事業者と対話の場を設け、資産・施設の市場性や活用アイデアを把握するための調査

**調査の実施** 実施期間：平成31年4月1日（月）～令和元年5月31日（金） <意見聴取社数：8社>

## 調査結果

条件の整理次第では、民間事業者の参入が大いに見込める。

全プールの現状維持は、事業者の観点から難しい。

民設民営は、建設費と採算性の面から事業者参入の可能性が低い。

運営の条件として水泳授業や健康増進事業等、市からの固定収入（委託料等）が必要。

津山エリアでのレジャープール運営は、事業者から見て採算が合わない。

新設の場合、人口が集中する市中心エリアで、学校授業の使用を前提に考えた方がよい。

公認プールでなく、競泳や健康づくりのために使用できる一般的なプールであれば、フィットネス機能を加えても建設経費はある程度抑えられる。

# 6 市営4プールの改修検討

## 市営4プールの維持管理経費（試算）

施設名称	改修内容	改修・改築コスト (実質市費負担額)	運営市費 (平成30年度実績)
グラスハウス	雨樋全面改修、廊下天井全面張替、給排水設備全面改修、ろ過設備全面改修、施設内タイル剥離改修、ジャグジーポンプ改修	20～30億円 (上記同額)	1億920万円/年 (指定管理料)
久米総合文化運動公園市民プール	空調設備改修、屋根周り全面改修、給排水設備全面改修、ろ過設備全面改修、フロア天井全面張替、プールサイド・屋外シート張替、給水設備関係全面改修、プール用照明全面改修	5～10億円 (1.5～3億円)	2,314万円/年 (指定管理料)
勝北総合スポーツ公園プール	給排水設備全面改修、ろ過設備全面改修、スライダー塗膜改修、屋外シート改修、流水プール槽の取替	2～3億円 (上記同額)	35万円/年 直営のため職員人件費は含んでいない
加茂町スポーツセンタープール	給排水設備全面改修、ろ過設備全面改修、更衣室棟屋根塗装改修	5,000万円 (1,500万円)	264万円/年 直営のため職員人件費は含んでいない

上記市費負担額については、過疎債や財団修繕助成等活用した場合で試算したものの。

# 7 市営プールの再編案検討

## 個別施設の評価（評価基準）

評価項目		算定基準（配点・配分）				
		配点5点	配点4点	配点3点	配点2点	配点1点
施設機能	用途面	【健】健康増進での用途 配点2点，【競】競技での用途 配点2点，【遊】遊技での用途 配点1点 以上の該当項目の合計を配点とする。				
	機能面	通年で屋内仕様		夏季限定で屋内仕様		夏季限定で屋外仕様
改修・改築コスト	市費負担額	1円以上1千万円未満 配点15点	1千万円以上5億円未満 配点12点	5億円以上10億円未満 配点9点	10億円以上15億円未満 配点6点	15億円以上 配点3点
運営コスト	運営市費	0円	1円以上 100万円未満	100万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 3億円未満	3億円以上
	利用者一人あたりの運営経費	0円	1円以上 500円未満	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上
民間運営	民間参入	可能性が高い 配点10点	可能性を有する 配点8点			実現性が極めて低い 配点2点

上記項目で評価未定の欄については配点を3点とする。



# 7 市営プールの再編案検討

## 個別施設の評価

評価基準により、各プール施設を評価

	施設機能					改修・改築コスト			運営コスト				民間運営		総合評価	
	用途面		機能面		計	うち市費負担額 (改修・改築費)		計	運営市費		利用者 一人あたりの 運営経費		計	民間参入	計	合計
グラスハウス	健康遊技	3	通年、屋内	5	8	30億円 (30億円)	3	3	1億920万円	1	2,429円	1	2	独立採算は 厳しい	2	15/45
久米総合文化運動 公園市民プール	健康 競技 遊技	5	通年、屋内	5	10	2.5億円 (10億円)	12	12	2,314万円	2	1,186円	2	4	可能性有り	8	34/45
勝北総合 スポーツ公園プール	遊技	1	夏季、屋外	1	2	3億円 (3億円)	12	12	35万円	4	367円	4	8	受け手が 見つからない	2	24/45
加茂町スポーツ センタープール	競技 遊技	3	夏季、屋内	3	6	1,500万円 (5,000万円)	15	15	264万円	3	770円	3	6	夏季限定 では厳しい	2	29/45
新設 (公設民営の場合)	健康 競技	4	通年、屋内	5	9	14億円 (14億円)	6	6	0円	5	—	3	8	公設なら 可能性高い	10	33/45

# 7 市営プールの再編案検討

## 個別施設の評価

施設名称	再編に向けての考察
グラスハウス	<ul style="list-style-type: none"><li>・市中心部に近く立地場所としては最も優れている。</li><li>・施設機能においては、屋内・温水であることから通年での利用が可能であるが、構造上、競泳利用には適さない。</li><li>・老朽化が進んでおり、改修には非常に多額の費用がかかり、全額市費負担が見込まれる。</li><li>・運営コストは高く、公設民営方式の可能性は低い。</li></ul>
久米総合文化運動公園市民プール	<ul style="list-style-type: none"><li>・屋内・温水で通年利用が可能であり、施設用途面で優れている。</li><li>・老朽化が進んでおり、改修には多額の費用が見込まれるが、過疎債の活用により市費負担の抑制が可能である。</li><li>・現在の運営コストは高いものの公設民営方式の可能性はある。</li></ul>
勝北総合スポーツ公園プール	<ul style="list-style-type: none"><li>・夏季限定の屋外レジャープールであり、運営コストは最も低い。</li><li>・老朽化が進んでおり、一定の改修コストはかかる。</li><li>・期間限定のレジャー用のため公設民営方式の可能性は非常に低い。</li></ul>
加茂町スポーツセンタープール	<ul style="list-style-type: none"><li>・屋内プールではあるが、温水でないため、夏季限定の利用である。</li><li>・一部改修が見込まれるが、助成事業や過疎債の活用により市費負担の抑制が可能である。</li><li>・夏季限定であり、公設民営方式の可能性は低い。</li></ul>
新設プール (公設民営方式)	<ul style="list-style-type: none"><li>・立地場所は、市中心部が最も効果的であるが、適地となる市有地がないため、用地取得費が必要となる可能性が高い。</li><li>・新設には多額の建築コストが必要となり、市中心部に設置した場合、全額市費負担が見込まれる。</li><li>・機能面で柔軟な対応が可能であり、運営コストを補う条件が整えば公設民営方式の可能性はある。</li></ul>

## 8 プール施設の方向性検討

### プール施設のあり方検討(現時点での考え方)

- ▶ 市営4プール全ての現状維持は困難であり、施設の統廃合を進めたい。
- ▶ 市税負担の抑制が期待できる民間活力の導入や有利な財源の活用を進めたい。
- ▶ 検討により廃止となる施設については、利活用策を検討していきたい。
- ▶ 学校プールは、市営4プールの検討結果を踏まえ、そのあり方の研究を進めていきたい。